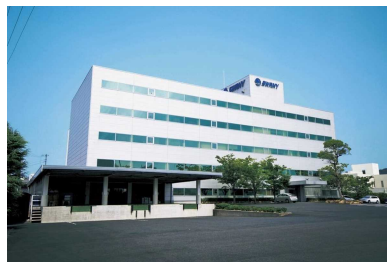




株式会社スワニー



株式会社スワニーさんは手袋・キャリーバッグ・車いすの製造・販売を行っている会社です。自社ブランドのスキーグローブは北米で7年連続売上 No.1 を獲得し、「Elmer by Swany」という自社ブランドは欧米で多く支持されています。また、自社オリジナルの湾曲ハンドルや4輪ストッパーなどさまざまな面でこだわっているキャリーバッグは、特に高齢の方から支持されています。

今回は、グローブ事業部課長 中尾伸氏、管理部 高田藍花氏に脱炭素社会へ向けた取り組みについて伺いました。

①現在の取り組みについて教えてください。

当社は各事業部でさまざまな取り組みをしています。

まず、管理部ではLEDを社屋全部で使用していたり、裏紙を使用し、できる限り廃棄物を減らすようにしています。

バッグ事業部では、バッグの内装に再生ポリエステルを使用し、リユース素材による商品化を進めています。8～9割のバッグが再生ポリエステルを使用したものとなっています。今のところ、内側の素材からということで、100%再生素材にしているのですが、将来的にはバッグの外側も再生素材を使用したものにしていきたいと考えています。ただ、キャリーバッグなどは、主に外で使用していただくものなので、撥水加工等ある程度のスペックが求められます。

その他、サステナブルな取り組みの1つとして、バッグの診断会を各地で開催しています。バッグを使用している間に、「キャスターが動かなくなった」、「ハンドルの上がりが悪くなった」など永年愛用いただいた商品の不具合が生じてきます。診断会では、またバッグを使用していただけよう、当社の社員がメンテナンスのサービスを実施しています。当社の商品は、高齢の方から支持されており、このバッグがないとなかなか外出しづらいという方や室内の移動でも使用されている方も多く、できれば直して使いたいというお声を多くいただいています。この診断会は約10年実施しています。1つのモノを長く使用していただくというところでも、サステナブルな取り組みとなっています。



※内側に再生ポリエステルを使用したバッグ



※スワニーバッグ
ルミー

最後に、グローブ事業部では、残った素材を再利用して、無駄にしない取り組みをしていたり、ブランドタグをF S C 認証（※）マークの入ったタグに切り替えたりしています。当社の場合、手袋についてはOEMのお客様からブランドに受注をいただき、手袋を製造し納品する形がビジネスの大きな部分を占めているのですが、そのようなOEMのお客様に対して、F S C 認証を得たタグ類の包装資材のご提案や、リサイクル素材を使用した規格、材料を仕入れるとどうしても残ってしまう生地がありますので、それをうまく活用した規格などのご提案をしています。

その他、中国の工場では、手袋を裁断した時にでる廃材を、これまではごみとして処分していたのですが、現在は、火力発電所に送り、発電燃料として提供しています。

それから、昨年度に関しては、会社として本格的にSDG sに取り組んでいこうということで、「SDG sプロジェクト」を立ち上げました。各部門から選出されたメンバーがSDG sの活動を引っ張っていこうということで、さまざまな活動をして、他の社員にもSDG sの啓蒙活動が行えました。今年度からは各部門において活動する目的・目標を設定し、それに向かって取り組んでいるところです。

※F S C 認証・・・1993年に発足した国際的な認証制度で、きちんと管理された森林から生産された林産物や、その他のリスクの低い林産物を使用した生産品であることを証明するもの

②取り組みのきっかけについて教えてください。

もともと会社の文化としてモノを大切にするという社風があり、それを今でも継続しているような状況です。手袋というものの自体、値段的にも厳しい商品なので、材料を少しでも浪費しないよう、「モノを大事にする、粗末に扱わない」というのは、入社した当初から上司に厳しく言われていました。資材だけではなく、電気や水道にしても、無駄に使わないというところは社風としてあります。最近SDG sという言葉が聞かれるようになったから、何かを始めたというのではなく、以前から会社の文化として根付いていたのだと思います。

③取り組みの影響や効果などはどうでしたか。

当社では、昨年、SDG sの理解を深めるために、外部の方を招いて研修をしました。その研修では、環境・社会・経済の3つの要素から、なぜSDG sが必要なのかということ、また、SDG sに対する可能性というのを見直すきっかけになりました。社員のSDG sに対する意識が高まり、各事業部でその意識が根づいたと感じています。



※SDG s研修の様子

④今後の予定について教えてください。

昨年、地域の方との交流を深めるため、そして、当社の商品を身近に感じてもらうためにファミリーセールを実施しました。これは地域貢献という括りで行ったのですが、このようなイベントを会社として今後も継続していきたいと考えています。それと同時に、前述したリサイクル素材を使用した商品開発も進めていきたいと思っています。



※自社ブランド「Elmer by Swany」手袋

⑤これから、取り組みをしようと思っている事業者へのアドバイスなどがありますか。

小さなことからできることが多いと思っています。電気をこまめに消したり、ごみが落ちていたら拾ったり、個人個人が意識を向けて取り組むことで脱炭素の一步に繋がると考えています。そのために、外部の講師を招いた講習などを行うのも良いと思うので、まずは一步を踏み出す勇気と行動を大切にしていけたら、それが少しずつ積み重なって大きな成果となって現れるのではないかと思います。

Interview

グローブ事業部 課長

中尾 伸（なかお しん）さん

管理部

高田 藍花（たかた あいか）さん

所在地

株式会社 スワニー

〒769-2795 東かがわ市松原 981 番地